本学の利用方法
産学官連携を進めるために

三重大学との産学官連携による研究開発の基本的な流れ

産学官連携のきっかけ

解けない問題

新たな発想

産学官連携の総合窓口

学術情報部
社会連携チーム

産学官連携の総合窓口となり、関係機関と連携して、産学官連携を推進しています。

コーディネーターによる面談

産学官連携
コーディネーター

産学官連携のノウハウと、専門知識を持ち、問題や得たい成果・結果に応じた連携の方針を立案します。

三重大学との連携

		連携で得られるもの
アドバイスが必要	技術相談	・問題解決 ・研究開発テーマ発見
大学の持つ、特殊な設備やノウハウが必要	受託研究	・実験、調査などの結果
互いのアイディア、ノウハウ、設備等の共有が必要	共同研究	・新製品 ・ノウハウ ・知的財産 ・人材育成

三重大学との産学官連携による共同研究の実施体制

Case1 既設講座の研究者との共同研究

講　座

教授
（大学の経費で大学が雇用）

講座独自の研究テーマを研究

保有資産
高度な専門知識、特殊な研究設備、研究ノウハウ、研究者、教育プログラム

共同研究

企業・自治体

保有資産
生産設備、研究者、資金

成果の内容

・特許などの知的財産の獲得
・研究能力を持った人材の育成

Case2 既設講座内の専属の研究者との共同研究

講　座

教授
（大学の経費で大学が雇用）

講座独自の研究テーマを研究

保有資産
高度な専門知識、特殊な研究設備、研究ノウハウ、研究者、教育プログラム

プロジェクト研究室

・企業等が希望する課題について研究
・専属の研究者を配置
・研究室の運営費用は企業等が負担

共同研究

企業・自治体

保有資産
生産設備、研究者、資金

成果の内容

・企業等の希望に特化した費用対効果が高い共同研究の実行
・特許などの知的財産の獲得
・研究能力・管理能力を持った人材の育成

Case3 産学官連携の為に新設した講座の研究者との共同研究

産学官連携講座

教授
（企業の経費で大学が雇用）

・企業等が希望する課題について研究
・専属の研究者を配置
・講座の運営費用は企業等が負担
・企業等の研究部門の役割を担う

保有資産
高度な専門知識、特殊な研究設備、研究ノウハウ、研究者、教育プログラム

共同研究

企業・自治体

保有資産
生産設備、研究者、資金

成果の内容

・企業等の希望に特化した費用対効果が高い共同研究の実行
・特許などの知的財産の獲得
・研究能力、管理能力を持った人材の育成
・拠点設置による継続的な研究の実施